

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	飯島 和夫	電話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9811	事務事業名称	水洗化促進費				短縮コード	経常	9811	臨時		
予算区分	会計	61	公共下水道事業会計_収益的支出	款	01	下水道事業費用	項	01	営業費用	目	05	普及促進費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市下水道条例								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<ul style="list-style-type: none"> 水洗化促進の啓発パンフレット及び戸別訪問を行っている。 排水設備工事の竣工検査は排水設備の適正な接続を図るため、昭和43年から実施している。 平成20年度より公営企業法適用。 												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
水洗普及率の向上は図られてきており順調に減少しているため、継続的な普及活動を進める。					大項目 (節)	05	下水道					
					中項目	01	下水道					
					小項目 (施策)	01	汚水排水の整備					
					細項目	02	水洗化の普及					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	平成21年4月 ~ 平成22年3月		計画事業費	千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	整備済区域内の未接続世帯等						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行ったこと: ・水洗化促進の啓発 (パンフレットの配布等) のため訪問や文書発送。 ・整備済区域内の排水設備工事の竣工検査。 ※平成22年度に計画していること: ・水洗化促進の啓発 (パンフレットの配布等), 認可区域内の排水設備工事の竣工検査。 ・未接続世帯への早期着工文書発送を戸別配付し経費節減を計る。 ・平成22年度より水洗便所改造資金貸付事務費と事業統合し, 既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付事務を行う。						
意図 (何を狙っているのか)	水洗化の啓発及び促進により適正な排水設備の執行を図る。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	20年度実績	21年度計画	21年度実績	22年度計画
対象指標	指標1	未接続件数 (年度末状況)	件	1,203	1,100	1,110	1,000
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	啓発パンフレット配付件数	件	135	150	81	150
	指標2	排水設備工事確認申請受付件数	件	806	900	681	700
	指標3	貸付件数	件				4
成果指標	指標1	竣工検査件数	件	929	1,000	679	700
	指標2	貸付金額	円				1,200,000
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9811	事務事業名称	水洗化促進費			所属名	給排水相談課																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		・確認申請書等データを整理し、マッピングシステムへ入力し活用することにより、水洗化地域等をより正確に把握し業務（通知、訪問等）の推進を図る。 ・平成22年度より水洗便所改造資金貸付事務費と事業統合し、既設の汲取便所または浄化槽便所の改造資金の貸付事務を行う。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・再任用職員等の活用による経費の節減と、マッピングシステムの活用による効率化を図る。 ・未接続世帯への早期着工文書等を郵送していたものを配布とし経費の節減を図る。 ・平成22年度より水洗便所改造資金貸付事務費と事業統合し、事務の効率化を図る。		
		経費																										
		削減	不変	増加																								
成果	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
未接続の解消については議会、監査からの意見がある。	

所属長コメント	再任用職員、賃金職員を有効に活用し水洗化を促進したい。また、マッピングシステムの活用により窓口業務等を効率的に進める必要がある。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	同一課内の事業であり、平成22年度統合済事業。事業の統合により効率的な事業の遂行に努めるべき。